



プレスリリース

2026年2月17日

JMA（一般社団法人日本マルチコプター協会）

株式会社一富士本店

日本災害救助艇研究所

## JMA・一富士本店・日本災害救助艇研究所、

## 水上ドローン「マリンドローン」年間300時間の実証運航を完遂

### — 各種性能試験において安定運用を確認、量産化へ前進 —

JMA（正式名称：一般社団法人日本マルチコプター協会 本社：東京都世田谷区、理事長：工藤 政宣）・株式会社一富士本店（本社：岡山県岡山市北区、代表取締役：工藤 政宣）・日本災害救助艇研究所株式会社（本社：東京都世田谷区、代表取締役：工藤 政宣）（以下、マリンドローン共同開発チーム）は、以前に開発を発表した水上ドローン「マリンドローン」について、2025年度に実施した各種実証試験の結果をご報告いたします。

本リリースは、マリンドローン開発発表後の実証フェーズにおける進捗報告となります。



※掲載画像はイメージです。



### 【年間 300 時間の運航を完遂】

2025 年度において、性能確認試験・耐久試験・デモンストレーション運航を含め、合計 300 時間の実証運航を完遂いたしました。期間中、重大なトラブルは発生せず、遠隔操縦および機体制御の安定性を確認しております。

### 【主な実証試験内容】

#### 1. 赤外線カメラによる倒壊家屋内部探索デモテスト

赤外線カメラを搭載し、倒壊家屋内部に取り残された要救助者を想定した探索テストを実施。一軒あたり約 30 秒で内部確認を完了し、迅速な初動スクリーニング能力を実証しました。

#### 2. 夜間暗視カメラ搭載テスト

夜間環境下で暗視カメラを用いた探索テストを実施。500m 先の対象物を検知することに成功し、夜間・低視界環境下での有効性を確認しました。

#### 3. 長時間連続運航テスト

1 日あたり 5 時間の連続運航を 6 日間実施（合計 30 時間）。遠隔操縦・通信・推進系統の安定稼働を確認しました。

### 【マリンドローン共同開発チーム代表 工藤政宣からのコメント】

本年度の実証運航において、300 時間に及ぶテストを無事完遂できたことは、技術的な前進であると同時に、安全性と信頼性の検証という意味で大きな成果だと考えております。

マリンドローンは、人が立ち入ることが困難な水域や危険区域において、初動の状況把握を担う存在として開発を進めてまいりました。

今後は量産仕様機の開発を加速させ、社会実装に向けた取り組みをさらに推進してまいります。

### 【今後の展開】

現在、量産仕様機の開発および設計最適化を進めております。引き続き実証データの蓄積と機体改良を重ね、社会実装に向けた取り組みを推進してまいります。マリンドローン共同開発チームは、水上無人モビリティ技術を通じて、安全で持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



※掲載画像はイメージです。

#### 【マリンドローン共同開発チームについて】

会社名	一般社団法人日本マルチコプター協会 略称 JMA 日本災害救助艇研究所株式会社 株式会社一富士本店
代表者	代表理事 工藤政宣
所在地	【JMA】東京都世田谷区下馬 6-20-4 【日本災害救助艇研究所】岡山県岡山市北区奉還町 2 丁目 8-15 【一富士本店】岡山県岡山市北区富原 543-4
TEL	086-255-1628 (10:00~17:00)
URL	<a href="https://marinedrone.jp/">https://marinedrone.jp/</a>
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>● 企業・行政・各種機関との連携</li><li>● 他業種に向けてドローンの活用と運用方法の提案</li><li>● FC 加盟校、スクールパートナー、業務パートナー育成</li><li>● 特殊無人航空機のスクール企画・運営</li><li>● プログラミング教室・ドローン塾の企画・運営</li><li>● WTW（ドローンコミュニティ）と無料体験会の開催</li><li>● 無料体験会の企画・運営</li><li>● 業界リーダーと協力した事業開発・情報発信</li><li>● 新規事業の開発・推進・拡散</li></ul>



【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

会社名	日本災害救助艇研究所株式会社
担当者	工藤 政宣
TEL	086-252-5872
E-Mail	kudo@jma.world